

千葉県中核地域生活支援センターニュースレター

ちばの地域福祉

地域福祉を進める視点—お互い様社会の再生を—

千葉県社会福祉協議会地域福祉推進部長
香取 達子

平成22年9月に本会が実施した「地域のつながりと地域福祉に関する県民意識調査」結果によると、日常的な生活圏域における地域住民との交流頻度は、「あまり交流していない」、「ほとんど交流していない」、「あてはまる人がいない」の合計が65.2%であった。また、地域活動への参加状況については、「自治会・町内会等の地縁型活動」で58.0%、「ボランティア・NPO等のテーマ型活動」で85.8%、「スポーツ・趣味・娯楽等のサークル型活動」で74.7%がそれぞれ全く参加したことがないと回答しており、総じて他者との付き合いが希薄で地域活動にも消極的であるという実態が浮き彫りとなった。しかし、そのことは必ずしも個々人の地域社会への当事者意識が弱まっていることを意味しているわけではない。

本年3月11日に発生した東日本大震災は私たちに多くの不幸と苦難をもたらしたが、一方で我が国に伝統的に培われてきた「お互い様社会」の大切さを再認識させてくれた。千葉県内の災害ボランティアセンターには1か月間で1万5千人以上、東北3県には5か月間で実に60万人以上のボランティアが全国から駆けつけてくれた。ここにあるのは、みんなが困難を分かち合おうとする「お互い様」の精神ではないだろうか。

人はひとりでは生きられない。誰も排除しないし差別しない、つながりのある地域社会づくりが必要だ。このまちが好きだ、このまちに住み続けたいという気持ちを大事にした取り組みでなければ地域福祉の推進につながらない。地域福祉を推進するということは、昔の地域をそのまま懐古することではなく、新しい支え合いという共生文化を地域社会につくり出す営みである。それをしていくためには、私たち社会福祉協議会職員はもとより中核地域生活支援センター職員も今まで以上に地域に足を運ぶことが大事だ。泥臭くても地域の人たちと一緒に笑い涙し、一緒に地域福祉を創造していく覚悟と姿勢を示していくことが地域に関わっていく基本である。

ちば・元気印！～こんなひと、見つけた～

「NPO法人イリス」 理事長 白石尚意氏

香取地域は、近隣に比べて精神障害を持っている方が活用しやすい資源が少ない地域の一つです。「精神障害者の集える場がない」との家族会の声をきっかけに誕生した「駅前倶楽部」（利用は精神障害者に限定せず）においても、精神障害を持っている方々の利用は非常に限られていました。数人の運営委員と地域の福祉職員がボランティアで活動を支援していた「駅前倶楽部」に運営委員として携わったことで、安定した地域生活支援の継続のためには経営の安定が必要と考えるようになり、NPO法人イリス設立へと繋がっていきました。

NPO法人設立当初は、障害者自立支援法の就労継続(移行)支援の立ち上げを最初の事業と考えていましたが、検討を重ねていくうちに「来て下さることから始まる支援の前に、こちらから出向いていく援助を」との気持ちが起こりました。では何を行うのか、精神障害を持っている方も対象とするなら、精神疾患に対しての医療的援助も重要です。また、今後地域はますます高齢化し、認知症などへの在宅ケアの必要性も高まるでしょう。地域生活を支える医療スタッフが必要だと考え、5月に「訪問看護ステーション Iris」を開設しました。

イリスの主な事業は、①障害者自立支援法や介護保険法に基づいた事業、②当事者やご家族の支援に関する事業、③支援者育成にかかわる事業の3本柱です。障害を持っている方は、その方自身のニーズがあります。目の前にいる人のニーズに合った、多様な生き方を選択できるように支援したいと思っています。また、家族は家族自身のニーズがあります。障害をもった方が暮らしやすくなるためのサポーターとしての家族ではなく、家族ひとり一人の生き方があります。家族が自分の人生をいきいきと生きられるようなお手伝いができればと思っています。②には、以上のような思いが込められています。③に関しては、福祉や医療に携わっている方々は、頑張りすぎてバーンアウトしてしまう人が多いように感じます。支援する上で、自分が困ったときに「助けて」と言えることや、一人で抱え込まないことが大切だと思います。肩の荷を降ろせてほっとできるような場や、「もっと学びたい」と思ったときに勉強できる機会をつくっていかうと考えています。

現在、ご家族を支援する活動「家族サポート ひととき」のうち、精神障害を持っている方の地域家族会「かとり会」への事務室の提供などを行っており、また、家族会員以外の方も対象にした交流会なども計画しています。当事者支援としては、制度の隙間にいる方々も視野に入れた日中の居場所「スペースいりす」の一日も早いOpenに向けて準備中です。

イリスが、障害を持っている方やその家族、支援にあたっている方々が、香取地域で自分らしく生活することを支える一部分になればと思っています。



事業所名 ■ 特定非営利活動法人 イリス

所在地 ■ 〒287-0002 千葉県香取市北 1-13-14

事業内容 ■ 障害者自立支援法や介護保険法に基づいた事業
当事者やご家族の支援に関する事業
支援者育成にかかわる事業

TEL/FAX ■ 0478-52-0240

Eメール ■ iris-office@tea.ocn.ne.jp



ちば・地域発 ～県内ア・ラ・カルト～

「若年無業者の生き方を考える」シンポジウム

〔主催〕千葉県

〔内容〕千葉県の委託事業である「ふるさとちば若者自立支援事業」において、「若者無業者の生き方を考える」をテーマとしたシンポジウムを成田市で開催します。

第1部 13時 受付開始

13時15分 開会挨拶（NPO法人ワーカーズコープ）

13時40分 基調講演 「蝕まれる若者の食と健康、その影響とは」

講師 梶原 公子 氏（作家、社会臨床学会運営委員）

14時40分 パネルディスカッション 「今、求められる若者支援とは」

（参加者 ふるさとちば若者自立支援事業参加者及び保護者）

15時40分 閉会挨拶（千葉県商工労働部雇用労働課）

第2部 16時～16時45分 市町村担当者による意見交換会

〔日時〕平成23年10月12日（水）13時15分～16時45分

〔会場〕成田市勤労会館 3階 大会議室（成田市不動ヶ岡 1113-1）〔定員〕100名 〔参加費〕無料

〔申込み〕お電話にて下記までお申し込みください。

電話：0476-37-6844（NPO法人ワーカーズコープ 成田地域福祉事務所）

※当日、会場での参加申込みも可能です。ただし、お車でお越しの方は、駐車場に限りがございますので、必ず事前にお申し込みください。

〈DV防止ネットワークづくりのためのシンポジウム〉

DVという被災～サバイバーと考える支援の在り方、あの時〇〇があったら～

〔主催〕DV被害者支援活動促進のための基金事務局 〔後援〕千葉県、千葉市 他

〔内容〕ファシリテーター：竹内 由紀子 氏（社団法人 notice）

サバイバー数名を囲んで支援の在り方を考える。支援者にとって被害体験者の話ほどエンパワーになるものはない。支援の原点に立ち帰る。迷い、躊躇していた当事者が自分の道を選択し進み、そして何を得たのか。

◇アフターセッション：ミニコンサート「秋のやすらぎ」15時40分～16時10分

星に願いを/you raise me up 他数曲 クラリネット：鈴木 貴子 氏

〔日時〕平成23年10月1日（土）13時30分～（13時開場） 〔参加費〕無料

〔会場〕千葉市美術館 11階 講堂（千葉市中央区中央3-10-8） 〔定員〕100名

〔申込み〕①講座申込み、②氏名、③所属をメールまたは電話にて下記までお申し込みください。

メール：dvkikinn-401@docomo.ne.jp ※メール申込み歓迎 電話：090-7907-7339

わたしの町の中核地域生活支援センター

長生ひなた（長生圏域）

【立地】 JR 外房線新茂原駅徒歩 0 分です。

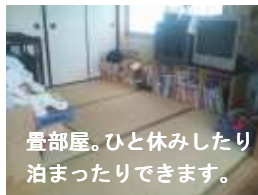
*長生ひなたの相談対応の方法（電話等:来所:訪問）は、全センターの割合（67.5%:6.7:25.1）と比べて来所相談の割合が高いことが一つの特徴です(56.5:13.4:29.9)。駅近であることが、気軽に立ち寄りいただける一つの要因になっています。ひょっとしたら、その他にも何か魅力があるのかもしれません。どうぞお立ち寄り下さい。



【建物】長生ひなたは中核センターの事業開始と同時期に NPO 法人を立ち上げて事業の委託を受けました。何の基盤もない中で、事務所の建物は隣町の〇里総合管理不動産に全面的なご協力をいただきました。社有の土地に、私たちの希望を 100%取り入れて使い勝手の良い事務所を建てていただきました。



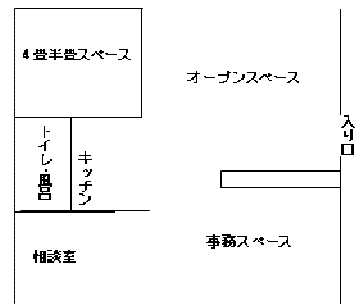
相談コーナー



畳部屋。ひと休みしたり泊まったりできます。



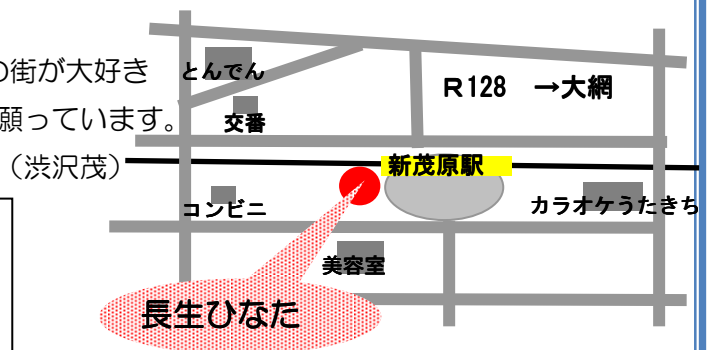
盛り沢山の情報掲示



【スタッフ】常勤スタッフ 3 名（40 代男性+30 代女性+50 代女性）。非常勤スタッフ 2 名で活動しています。平均年齢はちょっと高めです。スタッフの変更は比較的少ないので安定して（変わりばえなく？）仕事をしています。

【etc】

- 毎月の相談件数は平均して 500~600 件。上記のスタッフで対応させていただいています。
- 障害者自立支援協議会や要保護児童対策協議会等に参加させていただいたり、近隣の特別支援学校や高校の開かれた学校委員会、病院のリハビリテーション会議等にも参加させていただいています。
- 法律家の方たちと「福祉と司法がつながる会」、子育てに関心ある地域の方達と「子育て支援フォーラム」等を企画したりもしています。
- 活動を通じて、この地域に住む方達が、「この街が大好きで、住み続けたい」と思い続けられることを願っています。



〒297-0073 茂原市長尾 2694
 TEL:0475-22-7859 FAX:0475-22-7844
 メール:hinata.tyousei@lilac.plala.or.jp
 HP:http://www16.plala.or.jp/hinata_t/

発行元：千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会
 事務局：香取ネットワーク（香取圏域）香取市北 1-1-18 TEL:0478-50-2800 FAX:0478-50-2881
 編集：海匝ネットワーク（海匝圏域）旭市イの 1775 TEL:0479-60-2578 FAX:0479-60-2579
 *内容についてのお問い合わせは、海匝ネットワーク（担当：丸山）までお願いします。